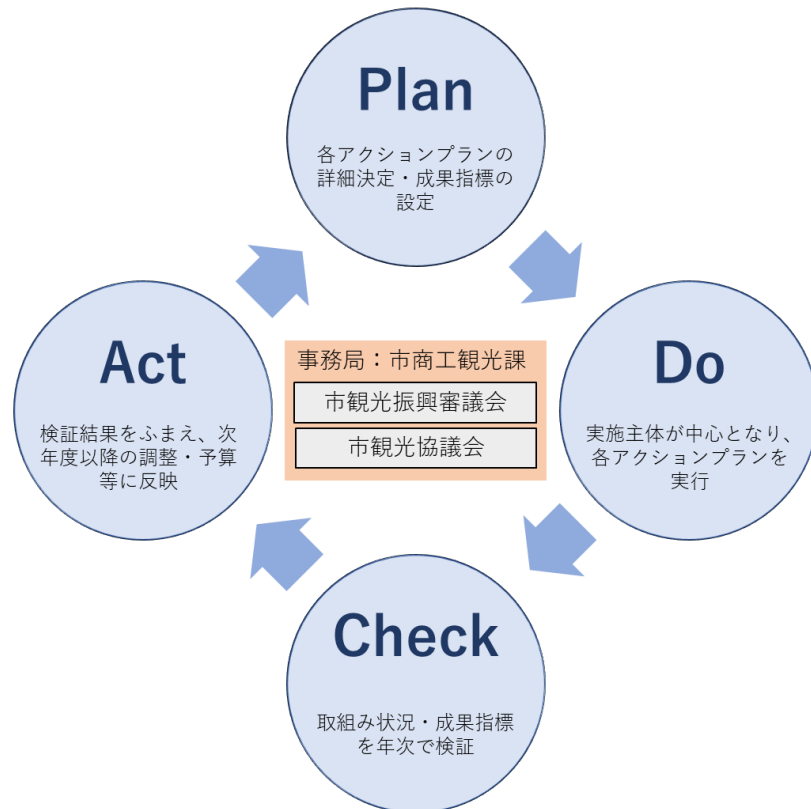


1. 第4期八幡平市観光振興計画の取組み状況と成果指標の検証について

1 計画の推進体制

令和4年8月に策定した第4期八幡平市観光振興計画の推進体制について、目標を達成するためのPDCAサイクルに基づく計画、アクションプランの実行、評価と検証、改善を市観光振興審議会や市観光協議会と連携し、数値を年度ごとに確認することで、取組み内容の見直しや目標値の検討を行いながら本計画を推進する体制としております。



2 検証にあたって

第4期八幡平市観光振興計画では、重要目標達成指標（KGI）と重要業績評価指標（KPI）を設定しております。

KGI は本計画で実現を目指す本市の観光の姿を表す指標として①～⑥まで設定されており、実績値をもとに分析、検証を行います。

- | | | |
|---------|------------------|---------------|
| ①旅行支出額 | ②旅行者数（観光入込客数等） | ③リピーター率・再訪意向 |
| ④来訪者満足度 | ⑤観光資源に対する認知率（市民） | ⑥観光への関与意向（市民） |

KPI のアクションプランごとの評価と検証については、具体的な事業の進捗状況や新たな課題の整理などを行うため、令和7年度の取組みを振り返りながら、アクションプランごとに検証票を作成し、取組み状況と成果指標の検証を行います。

3 重要目標達成指標（KGI）の検証

（１）旅行支出額について

①目標値

項目	令和元年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
日本人観光消費額	-	39億円	98億円	100億円	105億円	105億円	106億円
消費額 (1人当たり)	-	25,560円	26,000円	26,500円	27,000円	27,500円	28,000円
訪日外国人観光消費額	53億円	-	8億円	30億円	56億円	78億円	97億円
消費額 (1人当たり)	41,027円	-	42,000円	42,500円	43,000円	43,500円	44,000円

②実績値

項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
日本人観光消費額	98億円	124億円	126億円
消費額 (1人当たり)	32,896円	45,744円	49,558円
訪日外国人観光消費額	29億円	58億円	80億円
消費額 (1人当たり)	50,123円	71,399円	85,750円

③分析・検証

- 令和７年度の１人当たりの日本人観光消費額は、令和６年度と比較すると 3,814 円増加した。滞在期間は１泊２日が最も高く、次いで２泊３日の順となっている。消費者庁「2020 年基準 消費者物価指数 全国 2025 年（令和 7 年）平均」によると、消費者物価上昇率が前年比 3.2%となっていることや、全国的な物価上昇の影響を受け、令和 7 年度において、八幡平市内の宿泊施設 72 施設のうち 30 施設で宿泊単価の上昇が確認されており、市内における消費額も増加しているものと分析される。
- 令和 7 年度の１人当たりの訪日外国人観光消費額は、令和 6 年度と比較して 14,351 円増加した。タイからの訪問者数は前年度 1,871 人から 4,058 人へと 217%の大幅増となったほか、香港、台湾、シンガポールからの訪問者数も大幅増となった。また、オーストラリアからの訪問者数は、対前年度比 116%（1,001 人増）の 7,106 人、アメリカも対前年度比 131%（992 人増）の 4,151 人となった。スノー市場における販売強化への取組みであるシドニーでの商談会参加や、消費額が高い傾向にある国からの旅行者の増加が影響していると考えられる。

(2) 旅行者数（観光入込客数等）について

①目標値

項目	令和元年度 (基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
観光入込客数	1,879千人回	1,700千人回	1,850千人回	2,000千人回	2,200千人回	2,400千人回
延べ宿泊客数	514千人回	400千人回	450千人回	520千人回	560千人回	600千人回
外国人観光客入込数	129,476人回	20,000人回	70,000人回	130,000人回	180,000人回	220,000人回
教育旅行者数	24,529人回	15,000人回	18,000人回	22,000人回	26,000人回	28,000人回
スポーツ関係宿泊数	16,374人	16,000人	17,000人	18,000人	20,000人	22,000人

②実績値

(単位：人回)

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
観光入込客数	1,535,370	1,556,531	1,467,355
延べ宿泊客数	365,716	352,500	346,647
外国人観光客入込数	58,951	81,744	93,100
教育旅行者数	12,454	5,730	4,341
スポーツ関係宿泊数	14,502	10,233	12,910

③分析・検証

- 令和7年度の観光入込客数は、令和6年度と比較して89,176人減少した。特に9月から11月の3カ月間は、対前年度比82%（66,304人減）と大幅に落ち込んだ。クマの目撃情報が相次いだこと、ガソリン価格や物価高騰による消費者の節約志向などが複合的に影響したものと考えられる。
- 令和7年度の延べ宿泊客数は、前年度と比較して5,853人の減少となった。4月から7月の期間では、対前年度比20%の増加となったが、10月以降は落ち込み、特に10月から11月の期間では、対前年度比26%の減少となった。また、外国人の宿泊客数が増加する一方で、日本人の宿泊客数が前年度と比較して17,209人の減少となっており、国内旅行者の誘客促進が喫緊の課題となっている。
- 外国人観光客入込数は台湾（45,277人、対前年度比13%増）、香港（13,437人、32%増）、オーストラリア（7,106人、16%増）、中国（6,037人、35%減）、シンガポール（4,173人、145%増）、アメリカ（4,151人、31%増）、タイ（4,058人、117%増）、韓国（3,733人、10%増）、イギリス（896人、18%増）、カナダ（594人、86%増）となり、台湾、香港の割合が

高くなっている。伸びが鈍化傾向であったタイは最も高い伸びを示しており、次いでシンガポール、アメリカ、オーストラリアなど高い伸びを示している。唯一、中国のみ減少に転じた。

(3) リピーター率・再訪意向について

①目標値

項目		令和元年度 (基準値)	令和3年 12月～ 4年6月	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
リピーター率	日本人	-	83%	82%	81%	80%	80%
	外国人	55%	-	55%	57%	58%	60%
再訪意向 (7点満点※)	日本人	-	6.54	6.55	6.56	6.58	6.6
	外国人	5.82	-	5.9	6.1	6.3	6.6

※7点＝強く再訪したいと思う、6点＝再訪したいと思う、5点＝やや再訪したいと思う、4点＝どちらでもない、3点＝やや再訪したくない、2点＝再訪したくない、1点＝強く再訪したいと思わない

②実績値

項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
リピーター率	日本人	66.3%	68.4%	84.7%
	外国人	25.0%	18.2%	39.1%
再訪意向 (7点満点※)	日本人	6.25点	6.04点	6.38点
	外国人	6.14点	6.14点	6.67点

③分析・検証

- 令和7年度の日本人リピーター率は、令和6年実績値と比べて16.3%増加した。リピーター率が増加している要因の一つとして、7年度の調査が秋季から冬季を主な集計時期としていることが挙げられるが、旅行計画の過程において初めて八幡平・安比高原を知った観光客の認知経路は、「友人・知人からの情報」が42.9%と最も高く、リピーターによる口コミが認知度向上に寄与していると考えらる。
- 令和7年度の外国人リピーター率は、令和6年度実績と比べて20.9%増加した。

(4) 来訪者満足度について

①目標値

項目		令和元年度 (基準値)	令和3年 12月～ 4年6月	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総合満足度 (7点満点※)	日本人	-	6.24	6.25	6.26	6.28	6.3
	外国人	6.1	-	6.15	6.2	6.4	6.6

※7点=とても満足、6点=満足、5点=やや満足、4点=どちらでもない、3点=やや不満、2点=不満、1点=とても不満

②実績値

項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合満足度 (7点満点※)	日本人	6.13	6.04	5.83
	全国平均	6.02	6.08	5.99
	外国人	6.05	6.14	4.33
	全国平均	6.63	6.7	-

③分析・検証

- ・令和7年度の日本人の総合満足度は令和6年度と比較して、0.21点低下しており、全国平均も下回っている。満足度は自然・景観・観光名所、温泉が満足度を上げる要因となり、買い物、交通アクセス、通信環境などが満足度を下げる要因となっている。また、「トレッキングやスキーを含む体験・アクティビティに対する満足度」について「利用していない」との回答が半数を占めているため、同項目の満足度を下げる要因となっている。
- ・外国人は、昨年度から1.81点低下している。

(5) 観光資源に対する認知率（市民）及び観光への関与意向（市民）について

①目標・実績値

項目	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (実績値)
観光資源認知度	99.3%	83.7%
観光客増加に対する前向きさ（7点満点）	6.11点	6.12点
観光客へのおもてなし意向がある市民の割合	86.9%	85.0%

②分析・検証

・令和7年度の市民の観光資源認知度は令和6年度と比較して、15.6%低下した。八幡平市の観光地のイメージについて「地元、岩手県、近県からのお客様が多いローカルな観光地」との回答が53.9%と最も高く、「観光地というイメージはない」との回答が16.3%であった。

観光資源認知度は低下した一方で、観光客への関与意向については、観光による経済効果や地域活性化への期待から令和6年度と比較して0.01点増加した。

観光客へのおもてなし意向がある市民の割合は低下したものの、「観光客に挨拶するなど親切に接したい」、「八幡平市の観光を宣伝したい」などの回答の割合も高い結果となっている。